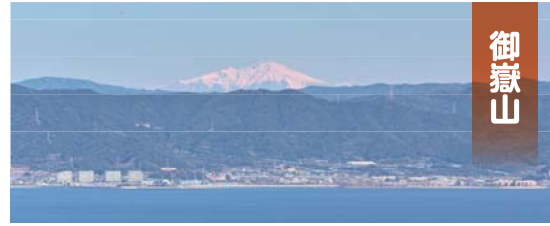


街歩きBOOK 田原

街あるつく田原 | 第46号
平成30年12月15日(土)



南アルプス



御嶽山



乗鞍岳

平成最後の元旦は「街あるき」でスタート！

●初日の出は蔵王山展望台で

いよいよあと数日で平成30年も幕を閉じます。そして来年は「平成」の年号も2019年4月30日までとなり、様々な意味で新しい時代の幕開けの年になります。

そこで今回の「街あるつく」は、記念すべき新年のスタートにふさわしい、まちあるきで訪れることができます。「まちなかスポット」の「蔵王山展望台」、田原まつりにゆかりのある「神明社(本町)」「八幡社(新町)」の3ヶ所をご紹介します。

リニューアルから丸6年が経過した「蔵王山展望台」。施設の充実と定期的なハイキングや季節のイベントなどで、年々、登山を楽しんだり展望台を訪れる方も増えています。夜間も4階の展望台・2階のエントランスは2時まで解放されており、夜景を楽しむ方々も季節を問わず訪れています。また、空気が澄む冬期(12月下旬～2月初旬) 日中には、御嶽山や乗鞍岳、恵那山、3000m級山々が並ぶ南アルプス。さらに愛知県内で最も美しい「富士山」の眺望が楽しめるスポットとしてテレビで紹介され、多くの方に蔵王山の情報が届けられ、知名度も上がっています。そんな蔵王山展望台で来年の元旦は初日の出で新年をスタートしませんか？

「蔵王山パノラマ★モーニングヨガ」

2019年1月20日(日)午前8時～9時30分、蔵王山展望台4階展望台フロアにて限定20名(要予約)にて参加者募集中。参加費1500円(レッスン料±モーニング代・税込)



蔵王山展望台定期イベントのご案内

お菓子投げ

毎月第1日曜日 午前11時～(雨天決行)



蔵王山展望台にて開催。参加は自由。詳細は「あつまるタウン田原」まで

蔵王山楽学会

毎月第3土曜日 午前8時30分～9時40分



蔵王山登山・誕生会 詳細は【蔵王パノラマカフェ】まで



蔵王山展望台 蔵王パノラマカフェ
年末年始の営業案内
12月28日(金)～31日(月)
通常営業 10:00～16:00

1月1日(祝)
臨時営業 10:00～16:00

1月2日(水)～6日(日)
通常営業 10:00～16:00

2階エントランス・4階展望台
朝5時から開放しています

年末年始に思いをはせ「神明社」と「八幡社」を歩く

江戸時代からを続く伝統を守る～神明社(本町・萱町・衣笠)、八幡社(新町)～

●神明社について
【御祭神：天照皇大御神】
 年代は不明であるが「神明宮由来記」に三人を乗せた宝船が白谷の浜に漂着し、その一人が豊丸皇子といい、悪病を患い伊勢神都におわすことができずお供の二人と共に、里人の養育で伽羅明神境内の庵で過し、30年のちに二人の供人が小祠を立て伊勢明神と称し、神主となり奉仕。その後、百三十余年を経て、白谷郷の東長尾山へ祠を遷し千余年後に田原の里がで



田原神明社 田原市田原町北番場1
御祭神：天照皇大御神

き、平山へ遷座したとある。またこの遷座については戸田家所蔵といわれる『奥郡故事集』にも記され、神明宮が平山(現在の本丸趾)に遷座して守護となしたのは應安七年(一三七四)、明應四年(一四九五)戸田宗光の築城のために現在の地(北番地)へ奉遷したといつ。

●神明社の境内には
 境内には「東照宮」「秋葉社」「稻荷社」があります。それぞれの前には鳥居もあり厳かな雰囲気です。ほかにも「神馬



境内の参道から拝殿を臨む

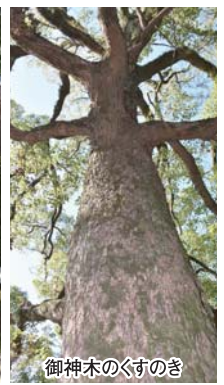


拝殿右側の「稻荷社」「秋葉社」「東照宮」

の睦月」、中でも正面の鳥居をくぐると左側にある「御神木のくすのき」は必見、他にも境内にもあります。ちなみにくすのきは田原市の「木」としても制定されていて、街とのゆかりを感じられます。



神馬の睦月



御神木のくすのき

伝統の朝市で心の通う
会話とコミュニケーション

田原「二・七の市」においでん!

12/30日みそが市

日頃のご愛顧に感謝をこめて、「甘酒の振る舞い」を予定。



お正月を前に地元で収穫された新鮮な冬野菜やお正月向けの花や海鮮も並びます。空気の澄んだ冬の朝、人々との繋がりで続いてきた伝統の朝市でほっこりしませんか?



二・七の市

- 会場／田原文化会館 第1駐車場(敷地内に無料駐車場あり)
- 開催日：毎月2・7・12・17・22・27日
- 開催時間(季節により異なります)
4月～11月：AM5:00～AM7:30頃・12月～3月：AM6:00～AM8:00頃
※商品がなくなり次第、早めに閉店する店舗があります。
- お問合せ(出展者募集中)／出店者代表：永田 ☎090-1289-6136

●八幡社について

〔御祭神：應神天皇、神功皇后、仲哀天皇〕

八幡社が勧請されたのは、戸田宗光が初代田原城主となった文明十二年（一四八〇）頃。二代戸田憲光が牟呂幕府の名門一色七郎とその養子となった戸田宗光両名の木像をここに安置し、中心は氏神であり武神である八幡神を祭祀した。その後、江戸初期の寛文四年（一六六四）三宅康勝が田原城主となった。その頃に相殿の一色七郎

と戸田宗光がいつしか中哀天皇と神功皇后に祭り替えられ、今日に至っている。

（八幡社御由緒石碑より引用）

●八幡社の境内には

境内には、末社「鎮西社」「木俣社」「御札社」があります。他に「稻荷社」があり、今でもそこに至る長い朱の鳥居や幟は、毎年のように厄年や信仰心の篤い氏子の篤志によって順次新しいものに換えられるなど、田原の人々に尊崇され親しまれています。



八幡社

田原市田原町南番場58
御祭神：應神天皇、神功皇后、仲哀天皇



〔稻荷社〕



〔鎮西社〕〔御札社〕〔木俣社〕

八幡社 12月31日の神事

12月31日 午後1時 焼納祭
除夜祭
師走大祓式

神事 ご案内

田原神明社 12月31日の神事

12月31日 午後3時 除夜祭
師走大祓

参加者募集! 芭蕉も歩いた田原街道

～田原から江比間まで15km、3万歩～

「おしゃべりウォーキング」

●開催日(平成30年度)

1月2日(水)・2月1日(金)・3月1日(金)

- 集合時間：午前8時15分集合 ※解散時間：午後4時30分
- 集合場所：渥美線 三河田原駅
- 参加費：5,000円(昼食、わらぞうり、ガイド料など含む)
※当日受付時に集金
- 参加申込：①たはら巡り～な公式Webサイト
②渥美半島観光ビューロー
電話0531-23-2525(受付時間9時～17時)
- 参加希望日●参加人数●代表者氏名●お住まいの市町村●連絡電話番号

宇津江坂と
わらぞうり

お問合せ先：田原ウォーキング企画 代表：山田政俊 090-1516-0982

成長期のお子様を使うものだからしっかり採寸。 お子さんと制服の相性もぴったりなものを

学生服のオグリ

はやし としこ
林 敏子さん



■学生服のオグリの歴史

学生服のオグリは、昭和4年、現在の場所である林敏子さんの母方の祖父が、紳士服の仕立てと、尋常小学校や旧制中学校向けの学生服の仕立てとお直しをしたのが始まりです。その頃はお直しの生徒さんが学校帰りによく立ち寄ってくださったそうです。昭和30年頃、敏子さんの母が東京の



住 田原市田原町本町39-14
電 0531-22-0476
fax 0531-22-0476
営 10:00~19:00
休 火曜日・水曜日
P 7台



服飾専門学校を卒業し、田原に戻って婦人服のオーダーメイドを始めました。現在は婦人用の既製服や服飾雑貨と、小、中、高校の学生服、体操服を扱っています。また、毎年秋には「紳士服お詠え会」も開催しております。

■敏子さんの生い立ち

敏子さんは、田原町本町で生まれ、高校卒業まで地元で育ちました。東京の大学卒業後一旦は豊橋市内の自動車関連会社に就職しましたが、兄が家業を継がないことが分かったため、母の勧めもあり、25歳の時家業を継ぐ決心をしました。

■学生服の今

少子高齢化の進む中、子供た

ちは減少の一途を辿り、学生服の販売も厳しい状況に置かれております。学生服は昔から変わっていない様に見えますが、生地改良、丸洗い可能、静電防止、ストレッチ等様々な機能が加わった商品も生まれています。縫製、裁断の新しい技術も開発され、着心地よく丈夫になりました。



■こだわり

学生服、セーラー服は標準型の中でも個性があり、生地であったり、シルエットであったり、着心地であったり、子供さんの個性に合うものを親御さんと相談しながら決めていくのが大事です。特に成長期の中学生のお子様は3年間きっちり着られるように、お一人ずつ40分から1時間程度か

けて採寸を行っています。成長に合わせて、袖丈、着丈等が直せるように工夫をしています。
12月中旬より、2月中旬まで、来年4月より中学校に入学される方々の採寸がはじまります。新高校入学者向けの、制服については、合格発表後の3月下旬から販売が始まりますので、是非ご利用ください。

■趣味の茶道

高校入学時に茶道部に入部したのが、きっかけで現在も裏千家の茶道を嗜んでおります。最近、樹木希林さん出演の映画「日は好日」を見て、これもあるあるの状況がたくさん見られて、大変面白かったです。

■最後に

「親子で」とか「親子三代で」当店では制服を詠えたと喜んでくださるお客様が増えてきて、大変有難く思っています。また、その次の子供さんにも制服はオグリでと思ってもらえるように、これからも努力していきたいと熱く語って頂きました。